

火災予防

回覧

2024年度全国統一防火標語

「守りたい 未来があるから 火の用心」

全国統一防火標語は、一般社団法人日本損害保険協会が製作する防火ポスターに採用され、全国の消防署をはじめとする公共機関等に掲示されるほか、防火・防災意識の啓発に活用されます。君津市でも標語を使用した防火ポスターの募集等に活用しています。

※君津市ホームページにも掲載していますのでご確認ください。➡



君津市内における火災の発生状況について

種別 年	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計
令和3年	16	4	1	0	0	4	25
令和4年	11	6	2	0	0	10	29
令和5年	20	5	1	0	0	5	31

君津市内において令和5年（1月～12月）に発生した火災は31件でした。令和3年は25件、令和4年は29件と年々増加傾向にあります。

火災が発生する原因は様々ですが、令和4年中における全国での出火原因は、1位 たばこ 2位 たき火 3位 こんろとなっております。

火災はちょっとした不注意から発生しますので火を使用する際は細心の注意が必要です。また、皆さんのお宅で火災が発生すると財産だけでなく、自分や家族の命、ご近所の方の安全をも危険にさらす恐ろしいものです。

火災を起こさないためにも、日頃から以下の防火対策に心掛けましょう。

家庭における防火対策

1 たばこによる火災の対策

寝たばこは絶対にしない

たばこの火がついた布団は、炎が上がらず、ゆっくりと燃焼を続け、空気の流入などの条件が揃うと炎を上げて燃え始めます。布団などの近くでは、たばこを吸わないようにしましょう。

たばこの火は確実に消す

たばこの火は確実に消しましょう。吸い殻は必ず灰皿に入れ、火が消えているのを確認しましょう。また、家の中で喫煙場所を決めておくこともたばこによる火災を未然に防ぐ基本的な方法です。

2 電気器具類による火災対策

コード類の取扱いに注意

許容電流を超えることで発火するタコ足配線は火災原因の一つです。また、コードに重いものを乗せると配線に負荷がかかりショートすることもあるので、気を付けましょう。

トラッキング現象に注意

コンセントと電気プラグの間にホコリ等が溜まり、湿気が加わるとそれが導線となり、電気が流れます。やがてそこから発火するのが「トラッキング現象」です。コンセントの周りはこまめに掃除し、ホコリを溜めないようにしましょう。

3 こんろによる火災の対策

調理中は絶対にその場を離れない。離れるときは必ず火を消すこと。

着衣着火に注意

こんろの火が衣服に燃え移ることがあります。袖口などは特に注意を払いましょう。防災品のアームカバーなどを着用すると安心です。

こんろの周りに物を置かない

こんろの近くに置いていたふきん等に火が燃え移ることもあります。こんろの周りに物は置かないようにしましょう。

4 放火の対策

「放火されない」 「放火させない」 「拡大させない」

可燃物を放置しない

古紙や段ボールなどを屋外に出しておく、放火されやすくなります。ゴミ出しの日まで室内で保管しましょう。

暗がりを作らない

暗い場所は人目につかないため、格好の放火場所になってしまいます。照明などを付け、明るくすることで放火されにくい環境づくりに心がけましょう。